

日本ポリアミン学会第8回年会 プログラム

Program of the 8th Annual Meeting of
the Japanese Society of Polyamine Research

～会期～

2017年1月20日(金)～1月21日(土)

～会場～

千葉工業大学

津田沼キャンパス 2号館3階大教室

千葉県習志野市津田沼 2-17-1

～年会担当～

河合剛太・根本直樹

千葉工業大学 先進工学部 生命科学科

日本ポリアミン学会第8回年会 プログラム

1日目 1月20日(金)

13:00 - 13:05 開会・世話人挨拶 河合剛太

セッション1

微生物とポリアミン(1)

座長：小黒明広（東京慈恵会医科大学）

13:05 - 13:20

1. 高度好熱菌と植物におけるスペルミジン、ホモスペルミジン、スペルミン、テルモスペルミンの生合成経路の比較：高度好熱菌が多種類のポリアミンを生産できる仕組み

○大島泰郎
(共和化工・環境微生物学研究所)

13:20 - 13:35

2. 分岐状ポリアミン Taa による RNA の構造安定化

今井美咲¹, 千勝大輔¹, 猪股恵美礼¹, 大島泰郎², ○河合剛太¹
(¹千葉工大・工, ²共和化工・環境微生物学研究所)

13:35 - 13:50

3. 新規アセチル化ポリアミン *N*⁴-ビス(アミノプロピル)-*N*-アセチルスペルミジンの同定

○林基煥¹, 秀瀬涼太¹, 小林正樹², 新津勝², 藤原伸介^{1,3}
(¹関学大院・理工, ²城西大学・薬, ³関学大院・理工・生物機能基材研究開発セ)

13:50 - 14:05

4. 黄麹菌 *Aspergillus oryzae* によるアグマチン生産

○加藤彩織¹, 赤坂直紀², 石井友理¹, 秀瀬涼太¹, 藤原伸介¹
(¹関学大院・理工・生命科学, ²マルカン酢(株))

14:05 – 14:20

5. 大腸菌の新規プロトトレッシン ABC エクスポートーSapBCDF

○杉山友太¹, 中村篤央², 松本光晴², 阪中幹祥¹, 神戸亜也香³,

東恭平⁴, 五十嵐一衛⁵, 片山高嶺^{1,6}, 鈴木秀之³, 栗原新¹

(¹石川県大・腸内細菌, ²協同乳業, ³京都工芸繊維大院・応用生物学系, ⁴千葉大院・薬, ⁵アミンファーマ研, ⁶京都大院・生命)

14:20 – 14:40 休憩 (20分間)・コーヒーブレイク

セッション2

微生物とポリアミン (2)

座長：坂本明彦（千葉科学大学）

14:40 – 14:55

6. 納豆菌株及び発酵条件の違いによる納豆中のポリアミン含量の変化

○久保雄司¹, 中川力夫¹

(¹茨城県工業技術センター(茨城工技セ))

14:55 – 15:10

7. 納豆中ポリアミン量に対する原料及び微生物発酵の影響

○小林和也¹, 久保雄司², 堀井悠一郎¹, 西脇俊和¹

(¹新潟農総研・食研セ, ²茨城工技セ・地場食品部門)

15:10 – 15:25

8. 醋酸菌の細胞内スペルミジンの恒常性維持機構と食酢中ポリアミンの捕虫効果

○石井友理¹, 赤坂直紀², 東久保遙¹, 佐古田久雄², 秀瀬涼太¹,

藤原伸介¹

(¹関西学院大院・理工, ²マルカン酢株式会社)

15:25 – 15:40

9. ヒト腸内細菌最優勢種の菌体内および培養上清における生育段階別のポリアミン解析

○奈良未沙希¹, 杉山友太¹, 阪中幹祥¹, 奥田修二郎², 片山高嶺^{1,3}, 栗原新¹

(¹石川県大・生資環, ²新潟大医歯, ³京都大・生命)

15:40 – 15:55

10. 腸内マイクロバイオーム内の異菌種間の異なる代謝系を介したポリアミン産生

○北田雄祐¹, 東樹宏和², 栗原新³, 松本光晴¹

(¹協同乳業・技術開発, ²京大・人環, ³石川県大・生資環)

15:45 – 16:05 休憩 (10分間)

特別講演

座長: 坂本泰一 (千葉工業大学)

16:05 – 16:35

NMRと因子分析によるスペルミジン合成酵素阻害剤の効果的評価法

山崎和彦

(産総研・バイオメディカル研究部門)

16:35 – 17:05

FBDDによるトリパノソーマ科寄生原虫スペルミジン合成酵素阻害剤の創製

○新美達也, 天野靖士, 伊藤真二, 立石幸寛, 生田目一寿, 田辺英紀,
本坊和也

(アステラス製薬創薬化学研究所)

17:30 – 19:30 懇親会 (1号館 20階)

2日目 1月21日（土）

セッション3

ポリアミンと生理・疾患（1）

座長：松本靖彦（帝京大学）

9:30 – 9:45

11. 心興奮現象に対するポリアミンの効果

○山口眞紀¹, 山澤徳志子¹, 大城戸真喜子², 池田道明¹, 栗原貫¹,
山内秀樹¹, 竹森重¹

(¹慈恵医大・医学部・分子生理, ²慈恵医大・医学部・分子生物学)

9:45 – 10:00

12. アクロレインによるマトリックスメタロプロテアーゼ9の活性化

○植村武史¹, 鈴木健裕², 斎木遼太郎¹, 堂前直², 伊藤聰^{3,4},
高橋芳右⁴, 柏木敬子⁵, 五十嵐一衛^{1,6}

(¹株式会社アミンファーマ研究所, ²理化学研究所, ³新潟県立リウマチセンター, ⁴新潟県立加茂病院, ⁵千葉科学大薬, ⁶千葉大院薬)

10:00 – 10:15

13. 精神疾患患者における脳障害度及び薬物療法とアクロレイン関連の組織障害バイオマーカーとの相関解析

吉田円¹, 神崎哲人^{2,3}, 溝井睦美¹, 中村瑞穂¹, 植村武史¹, 三森
盛亮³, 鶴重順康⁴, 関根慶輔⁴, 石井千博⁴, 吉見太朗⁴, 安井玲子⁴,
安川明香⁴, 佐藤護⁴, 岡元誠子⁴, 久岡哲也⁴, 三浦正史⁴, 草西俊⁴,
村上佳奈子⁴, 中野知恵子⁴, 水田康彦⁴, 三島修一⁴, 早川達郎⁴, 塚田
和美⁴, ○柏木敬子³, 五十嵐一衛^{1,2}

(¹株アミンファーマ研究所, ²千葉大院薬, ³千葉科学大薬, ⁴国立国際
医療研究センター国府台病院)

10:15 – 10:30

14. 関節リウマチ患者における血漿アクロレイン量

○五月女貴俊^{1,2}, 川端ちさと¹, 堀田優子¹, 樽本修和², 塩川光一郎¹,
五十嵐一衛³, 河野博隆¹, 西村慶太¹

(¹帝京大・整形外科, ²帝京平成大・健康科学研究科, ³千葉大・アミン
ファーマ研究所)

10:30 – 10:50 休憩（20分間）・コーヒーブレイク

セッション4

ポリアミンと生理・疾患（2）

座長：東 恭平（千葉大学）

10:50 – 11:05

15. ポリアミン経口摂取によるマウス熱ストレス精巣障害の保護効果と夏場の豚の精液状態に対する有効性

○渡邊卓巳¹, 伊地知哲生¹, 笠原尚哉², 浦橋泰然², 高山達也², 福田菊人³, 梅田浩介², 寺谷工²

（¹コンビ株式会社, ²自治医科大学・医学部, ³豊橋飼料株式会社）

11:05 – 11:20

16. 腫瘍組織の N¹, N¹²-ジアセチルスペルミン量による子宮および卵巣腫瘍の良・悪性鑑別

○平松恭子¹, 八杉利治², 斎藤文江¹, 高浜恵美¹, 森谷俊介¹, 遠藤典子¹, 鮫島啓二郎¹, 高橋慶一³, 川喜田正夫¹

（¹東京都医学総合研究所・幹細胞プロジェクト, ²がん・感染症センタ一都立駒込病院・婦人科, ³同・大腸外科）

11:20 – 11:35

17. 安定同位体標識ポリアミンを用いたラット再生肝内のポリアミン動態の解析

○森谷俊介, 遠藤典子, 鮫島啓二郎, 平松恭子, 川喜田正夫

((公財)東京都医学総合研究所・幹細胞プロジェクト)

11:35 – 11:50

18. ポリアミン - 柚子種子抽出物の糖脂質代謝異常に関する機能評価

○南澤磨優覽¹, 鈴木京子², 河合剛太¹, 山口章², 山中正二²

（¹千葉工大・先進工学部, ²横浜市立大・医学部）

11:50 – 13:00 昼食（評議員会・2号館2階会議室3）

セッション5

ポリアミンと植物

座長：南澤麿優覽（千葉工業大学）

13:00 – 13:15

19. イネ *OsPA06* cDNA の同定と発現解析

○草野友延¹, Sagor, GHM^{1,2}, 井上雅貴¹, 児島征司^{1,3}, Berberich T⁴
(¹東北大・院生命, ²バングラデシュ農業大, ³東北大・学際フロンティア研究センター, ⁴BiK-F)

13:15 – 13:30

20. シロイヌナズナ *SAC51* 遺伝子群のサーモスペルミンによる翻訳制御

山本真衣, 本瀬宏康, ○高橋卓
(岡山大・院・自然科学)

13:30 – 13:40 休憩（10分間）

セッション6

ポリアミンと生理・疾患（3）

座長：栗原 新（石川県立大学）

13:40 – 13:55

21. ポリアミン濃度変化によるポリアミンと遺伝子メチル化に係る代謝の検討

○福井太郎¹, 高尾浩一³, 力山敏樹¹, 早田邦康^{1,2}
(¹自治医大さいたま医療センター・外科, ²自治医大さいたま医療センター循環器病臨床医学研究所, ³城西大・薬・薬科学科)

13:55 – 14:10

22. ポリアミンによるヒストンアセチル化酵素合成促進

○坂本明彦¹, 遠藤正俊¹, 吉田健人¹, 照井祐介¹, 五十嵐一衛^{2,3},
柏木敬子¹
(¹千葉科学大・薬, ²千葉大院・薬, ³アミンファーマ研)

14:10 – 14:25

23. ポリアミンによる Chondroitin synthase-1 合成促進機構の解明

○東 恭平¹, 山口勝利¹, 今村正隆¹, 朝倉希里生¹, 西村和洋¹,

五十嵐一衛^{1,2}, 戸井田敏彦¹

(¹千葉大院・薬, ²アミンファーマ研)

14:25 – 14:40

24. アンチザイムの翻訳フレームシフト部位の終止コドンの役割

○小黒明広¹, 重田友明², 岩本武夫³, 今高寛晃², 松藤千弥¹

(¹慈恵医大・分子生物, ²兵庫県立大・院工, ³慈恵医大・総合医科学セ)

14:40 – 14:50 休憩 (10 分間)

14:50 – 15:20 総会

15:20 – 15:35 閉会・会長による総括